

★ おおだて 市議会だより

105号

平成24年8月1日



平成24年6月定例会（会期：6月5日～6月21日）

- 主な議案等の審査結果(6月定例会)……………P.2
- 一般質問……………P.4
- 委員会から……………P.8
- 政務調査費……………P.9
- 私もひ・と・こ・と……………P.10

7月1日鮎釣り解禁
(外川原橋から)

主な議案等の審査結果

6月定例会（会期：6月5日～6月21日）

内訳：専決処分の報告3件・承認4件、報告11件、条例案6件、単行案3件、予算案6件、人事案1件、請願2件、継続審査中の請願3件・陳情9件
計48件

主な案件・内容	結果
<input type="radio"/> 専決処分の承認について（平成23年度大館市一般会計補正予算（第14号） <ul style="list-style-type: none"> ・ 予想を上回る降雪に伴う市道の除排雪経費の追加 	承認 9,050万円
<input type="radio"/> 大館市市税条例の一部改正 <p>東日本大震災からの復興に関し地方公共団体が実施する防災のための施策に必要な財源の確保に係る地方税の臨時特例に関する法律等の施行により、個人市民税均等割の税率などを次のとおり改正します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人市民税均等割の税率の引き上げ 平成26年度から平成35年度まで 3,000円 ⇒ 3,500円 (500円アップ) ・ 退職所得に係る10%税額控除の廃止（平成25年1月1日から） ・ 東日本大震災に係る被災居住用財産の敷地に係る譲渡所得での所得控除の期間を3年から7年に延長します。 ・ 市たばこ税率の改正（平成25年1月1日から） <p>旧3級品 1,000本につき 2,190円 ⇒ 2,495円 (305円アップ) 旧3級品以外 1,000本につき 4,618円 ⇒ 5,262円 (644円アップ)</p> <p>※旧3級品～専売納付金制度下において3級品とされていた紙たばこ（エロー、わかば等6銘柄）</p> 	原案可決
<input type="radio"/> 大館スカイパーキングに関する条例の一部改正、大館市農産物出荷加工施設に関する条例の一部改正 <p>上記の2施設について、指定管理者制度を導入するため、指定管理者が行う管理の基準、業務の範囲、指定期間等を条例に規定します。</p>	原案可決
<input type="radio"/> 大館市図書館条例の一部改正 <p>指定管理者制度を導入するため、指定管理者が行う管理の基準、業務の範囲、指定期間等を条例に規定します。</p>	賛成多数により 原案可決 〔賛成26 反対1〕
<input type="radio"/> 平成24年度大館市一般会計補正予算（第2号）案 <ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティセンター助成事業交付金（大滝温泉） 1,500万円 ・ 3R推進プラザ施設設計委託料 1,200万円 ・ 戸籍システム更新経費 1,997万5,000円 ・ 介護基盤緊急整備特別対策事業費補助金（グループホーム） 1億2,000万円 ・ 再生可能エネルギー等導入事業費（太陽光発電） (総合福祉センター・城西小・川口小・中央公民館) 1億4,817万8,000円 	原案可決



主な案件・内容	結果
<ul style="list-style-type: none"> ・ 北地区コミュニティセンター調理室の新設 679万9,000円 ・ 農業夢プラン応援事業費補助金 1,256万1,000円 ・ 比内地鶏糞処理施設建設事業費 1,757万6,000円 ・ プレミアム商品券発行事業費補助金 3,000万円 ・ 秋田デスティネーションキャンペーン開催事業費 240万8,000円 ・ きりたんぽまつり運営費補助金 742万円 ・ 市道二ツ屋線地すべり調査事業費 1,500万円 ・ 災害時用備蓄品購入費 856万9,000円 ・ 自主防災組織育成事業費 249万5,000円 ・ 放課後児童クラブ用学校内部改修事業費(上川沿小・川口小・長木小) 1,034万4,000円 ・ 樹海体育館大型スポーツ用品購入費 750万円 <p>(ほか)</p>	
<p>○ 財産の取得について (ロータリ除雪車 2.2m級 1台)</p> <p>老朽化した除雪車の更新のため、ロータリ除雪車1台を購入します。</p> <p>予定価格が2,000万円以上の不動産もしくは動産の買い入れ、売り払いについては、議会の議決が必要となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 購入予定価格 2,173万4,441円 (税込) 	原案可決
<p>○ 固定資産評価員の選任について</p> <p>一関 雅幸 氏 (小坪川原)</p>	同意

請願・陳情

○6月定例会に提出されたもの ○継続審査となっていたもの

請 願	<input type="checkbox"/> 原発事故関連放射性物質の受け入れ反対について <input type="checkbox"/> 放射性セシウムを含む焼却灰の受け入れ再開への反対について <input type="checkbox"/> 環太平洋経済連携協定（ＴＰＰ）への参加中止について <input type="checkbox"/> 消費税増税への反対について <input type="checkbox"/> 学校図書館の蔵書整備・充実のための予算化について	継続審査
陳 情	<input type="checkbox"/> 拡大生産者責任（ＥＰＲ）及びデポジット制度法制化について <input type="checkbox"/> 社会保障と税の一体改革による消費税増税の反対について <input type="checkbox"/> 原子力発電所の廃止、再生可能エネルギーによる発電の推進について <input type="checkbox"/> 社会保障と税の一体改革の中止について <input type="checkbox"/> 最低賃金の引き上げと中小零細企業支援の拡充について <input type="checkbox"/> 子ども・子育て新システムによる保育制度改革に反対し、現行保育制度の拡充を求めることについて <input type="checkbox"/> 住民の安全・安心を支える公務・公共サービスの体制・機能の充実について <input type="checkbox"/> 新町など市営3住宅建てかえ工事への反対について <input type="checkbox"/> 東台地区支援センター（仮称）の建設促進について	継続審査



一般質問(4)

平成24年8月1日(No.105)

武田 すずむ
晋議員(平成会)



空き家対策について

〔問〕 平成22年10月現在、538戸の空き家が確認された。

条例化を含めた空き家対策全体の方向性と空き家バンクを今後どのように展開するのか。

〔市長〕 空き家条例等を設置しても抜本的解決には至らない。

一自治体での対応では困難であり、全国的な問題として国レベルで取り組む必要がある。空き家バンクには現在、1件の申し込みと6件の問い合わせがある。

今後とも制度の利用を促進する施策を検討していく。

スポーツと地域活性化

〔問〕 経済的效果が期待できる要素を入れ、樹海体育馆・樹海ドーム・高館テニスコートを核とした全日本クラスの大会・行事を誘致して地域活性化を図るべき。

〔市長〕 全国クラスの大会が地域経済に与える効果は大きく、19年国体では来場者3万6,000人で経済効果は2億7,000万円と試算されている。関係団体との連携を密にし、積極的に大会を誘致したい。

〔問〕 レールバイク事業推進のため、長期計画としてイベントを開催できる環境を速やかに整えてもらいたい。

〔市長〕 市の市町村未来づくり協働プログラムの対象事業としてレールバイクによる観光振興を提案し、採択に向け協議中であり、今後も支援したい。

大館能代空港の利活用促進

〔問〕 大館能代空港の利活用促進を図る要望事項として「東京便1日3往復」「大阪定期便の復活」を実現させるため搭乗

率保証制度の導入を考えてみたらどうか。

〔市長〕 搭乗率保証制度は、会社側の意向によっては一つの選択肢と考えられるが、保証する搭乗率や保証金額などの問題を含め検討を要する。

〔問〕 今後は新幹線との競合などで空港のサバイバル競争が激化する。県北が持つ技術や研究体制を生かし、航空機のリサイクル事業に取り組み産業振興を図る考えはないか。

〔市長〕 地域での事業化は大変有望である。幅広い視点で、空港の活性化と有効な利活用について検討していく。

〔問〕 今後とも制度の利用を促進する施策を検討していく。

〔市長〕 参加者全員が、同時に一斉に机の下に隠れるなどの同一行動をとることにより、災害発生直後に重要な「自助」と「共助」などの防災意識の向上を図ることができる。

〔問〕 シエイクアウト訓練を実施してほしい。

〔市長〕 参加者全員が、同時に一斉に机の下に隠れるなどの同一行動をとることにより、災害発生直後に重要な「自助」と「共助」などの防災意識の向上を図ることができる。

学校通学路の安全対策について

〔問〕 児童、生徒を守るために、通学路の危険箇所の総点検が必要ではないか。

〔市長〕 全ての小学校で、本年度に入つてから危険箇所の総点検が実施され、その結果とともに安全マップを作成している。

〔問〕 通学路の安全対策について市長の考えは。

〔市長〕 通学路の安全対策の一環として、見守り隊は小学校で16校、中学校で2校に組織され、定期的に交通安全指導がなされている。

消防バイクについて

〔問〕 消防機能を持つ消防バイクを導入すべきではないか。

〔市長〕 災害時における消防バイクの機動性・有効性は非常に高い。このバイクに、消防用ホースと減圧弁を積載して現場に向かうなど幅広く検討したい。

〔問〕 シエイクアウト訓練は実施してほしい。

〔市長〕 参加者全員が、同時に一斉に机の下に隠れるなどの同一行動をとることにより、災害発生直後に重要な「自助」と「共助」などの防災意識の向上を図ることができる。

〔問〕 橋梁長寿命化修繕計画について

〔市長〕 従来の大規模な修繕を行なう「事後保全型」から、大規模修繕が必要となる前に修繕していく「予防保全型」へ転換する。

橋梁長寿命化修繕計画について

〔問〕 橋梁長寿命化について市長の考えは。

〔市長〕 従来の大規模な修繕を行なう「事後保全型」から、大規模修繕が必要となる前に修繕していく「予防保全型」へ転換する。

非構造部材の耐震対策について

〔問〕 学校施設の天井材や外壁材など非構造部材の耐震対策について市長の考えは。

〔市長〕 各学校施設を定期的に点検し、必要に応じて専門業





飼料米について

佐藤 健一議員（いぶき けんいち）

飼料米について

の完成により、地域循環型農業の推進が期待される。その関連の伊藤忠飼料(株)への昨年度の飼料米の販売実績と今年度の計画は。

人・農地プランについて

このプランを前提にし
た市のアンケートの結果とその
後検討している地域があるのか。
あるとすれば、プラン作成の指
導は的確に行われているか。

幼保一体化と 今後の保育について

問 県内に認定こども園はあるのか。

(市長) 平成18年度から制度が開始され、4月現在で県内で28園が認定されている。市内では学校法人による2カ所の認定こども園がある。

市長　新システムに関する法案は審議中（6月11日現在）であり、制度については未確定だが、市としては教育と保育の一体化が時代の要請であると考え、体制整備を進める。

〔問〕 待機児童などの今後の保育の方向は。

中村 なかむら 弘美議員(平成会)

市立舎など公共施設（ハコモノ）更新について
長期的な更新計画と財政
計画に基づく更新を

A black and white portrait of Taro Aso, a Japanese politician, speaking at a podium. He is wearing a dark suit and tie. A microphone is positioned in front of him.

問 現況で施設を維持し続けることは市政運営の大きな負担となり本当に必要な行政サービスに悪影響を及ぼす。後世に大きな負担を残すことにもなる。一元的な長期更新計画と財政計画に基づく更新を行うべき。

市長 本市が所管する公共施設は、昨年12月末現在で、建物だけで307カ所、1,241棟、面積にして約44万平方



庁舎建設が検討されている市役所本庁舎

喫緊の課題であり、認定外保育施設をあつせんする一方、本年度中のはちまんの森保育園の改築により56名の定員増が図られる予定。今後も民間による新たな保育施設の整備に支援してまいりたい。

年は耐震対策に係る予算が大幅に増加している。こうした公共施設の保全については、建設から維持管理、更新まで年次計画を基に優先度の高いものから実施計画に盛り込んだ上で、年度ごとの財政需要をふまえた予算措置としている。議員から紹介いただいた秦野市の計画については、公共施設整備を人口の増減や利用者の分析を交えて歴史的・社会学的に据え直しながら、将来に負担を回さないという強い決意を持って総量規制していくという点で画期的と思われ、本市の公共施設の更新、転用、統廃合などを一元的に管理する上でぜひ参考にしたいと考えている。議員の提言を受けて、急速、各部署で所管している公共施設の管理や将来計画のデータを集合させ、公共施設の再配位置計画の検討に入りたいと思っている。その上で、継続が妥当とされた施設の更新については、大限配慮してまいりたい。また市役所本庁舎についても本年度新たに立ち上げた庁舎建設検討会議において、そのあり方を議論しながら計画的に進めてまいりたい。

笠島 愛子議員（日本共産党）
ささじま あいこ



市長は国保への国庫負担増額を求めるために全県を代表してイー・シアチズの発揮を

〔問〕 国保の総収入に占める国庫支出金の割合は年々減らされている。国保加入者の所得が減っているのに反比例して保険料が引き上げられる大きな要因もそこにある。国からの増額なしでは加入者の滞納も当然増えることになる。政府に対しても強く要望すべき。

〔市長〕 国保は我が国の医療保険制度の基盤として、医療の確保や市民の健康維持等に重要な役割を担ってきたが、財政的に極めて厳しい状況にある。これまで抜本的な改革を要望してきたが今後も制度の安定運営及び加入者の負担軽減のため要望・提言していく。

〔問〕 民間へ誘導していくこととしている。今後、各町内の状況把握を進め再検討する。

鳳鳴高校グラウンド脇の植樹帯撤去等の理由を近隣町内に説得する配慮が必要ではなかつたか

市民から表題のような意見が寄せられたが、もつとも多いと考えるが、その後、各公

多いと考えるが、その後、各民館へ誘導していくこととする。今後、各町内の状況把握を進め再検討する。

【問】児童生徒の保護者に配布する「就学援助制度についてのお知らせ」は、大変わかりづらいという声が寄せられている。せつかくのよい制度なので、ぜひわかりやすく改善すべき。
【市長】申請の対象者に関する部分など、よりわかりやすい表現や表示の方法を検討し、改善を図っていく。

災害時の避難体制の 課題や改善点について

避難場所及び避難所の初動時は、まず近くの町内会館等を優先すると思うので、全町内を細かく点検すること。

なことである。所管の常任委員会はもちろんのこと、地域住民にはいち早く説明すべきこと。道路管理者である市長は、今後十分に配慮してほしい。

〔市長〕 植樹帯撤去による緑の減少については、伊徳ホールディングスに代替となる植樹を要請しているが、植樹帯の撤去や道路の形状が変わることなど、近隣町内に説明しなかつたことは配慮に欠けた。

田中耕太郎議員（いぶき21）



大館市は災害対応空白地帯の心配はないのか。

自衛隊
大館市

大館市の災害時

沼館の旧・み処理施設の解体工事に関しても、ダイオキシン防爆対策や特殊なノウハウを持つ業者に限られるが、地元企業も受注できるJVの義務づけなど可能な範囲で検討する。

自衛隊と
大館市の災害時
対応の連携強化を

〔問〕 災害時、市の対策本部に自衛隊を参加させるべき。

〔市長〕 東日本大震災での人命救助・生活支援・行方不明者の捜索など、みずから危険を顧みず困難な作業を行つた自衛隊の皆様に衷心より敬意を表します。人命救助・情報共有化の立場から、災害対策本部への自衛隊の参加は大変心強い。参画してもらえるよう体制の強化を図る所存です。

〔問〕 災害時、自衛隊車両の燃料補給は。

〔市長〕 優先的供給が可能か協議する。

〔問〕 災害対策本部での自衛隊との連絡手段について。

〔市長〕 連絡手段の確保は非常に重要であり、NTTと協議する。

〔問〕 早期の防災計画見直しについて。

〔市長〕 災害発生時に即応できる広域的災害対応マニュアルを策定し、大地震等災害発生時にはマニュアルに従い対応する。

問 小・中学校における防

〔教育長〕 防災教育の狙いは、みずから命を守りぬくための主体的行動、②その基礎となる基本的知識を学ぶ、③安全・安心な社会づくりに貢献する意識を高めること。教育委員会として、防災教育の充実は重要な課題と認識している。東日本大震災の際、自衛隊も総力を挙げて救援活動を展開し、2万人近くが救助された。同じ東北の人々が救助された。同じ東北の人として、被災地と同様の敬意と感謝の念を抱いている。秋の生涯学習フェスティバルで自衛隊の救援活動を紹介する予定。被災地の惨状とともに救援活動の実際を知ることは、小・中学生にとっても防災教育の趣旨からも有意義なことである。



一般質問

平成24年8月1日(No.105)



佐藤 芳忠議員(無所属)

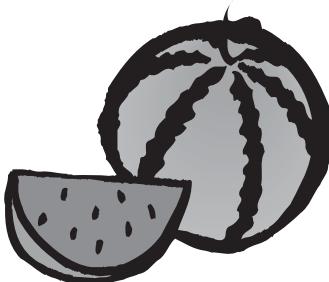
子供たちの安全のために

〔問〕 3月にペレットストーブとボイラの焼却灰から、高濃度の放射性セシウムが検出されました。市は小・中学校等の空間放射線量を測定し、『焼却灰による人体への影響は心配のないレベル』としましたが、これは推測でしかありません。子供たちの安全は、セシウムの多寡や国の基準以下だからという問題ではありません。セシウムがない環境を与えるか、有る環境で過ごせるかという重大な問題です。子供たちの安全のためには、定期的にペレット焼却灰のセシウム濃度を測定し、検出されたら直ちに撤去すべきと考えます。

〔市長〕 定期的なサンプル調査が必要です。市はペレット焼却灰の放射性物質濃度を、国の土壤改良資材の基準の400ベクレルとしたい、と考えています。

受け入れを前提とした 燃焼試験について

〔問〕 市長は市民にがれき受け入れの是非を問わず受け入れ手続きの開始を表明しましたが、他市のように受け入れを前提とした試験を行うのか、それとも



東日本大震災被災者 への義援金について

〔問〕 3・11から1年3カ月経過したが、市関係の募金箱の集計はいかほどか。

〔市長〕 日赤業務を担当する市福祉事務所には7日までに、3,324万3,641円が寄せられた。また、3,717万3,349円が日赤県支部へ直

がれき受け入れに関する市長発言の変化について

〔問〕 去年の12月までは『市民の意見をしっかりと聞きながら進めなければならない』『関東の焼却灰同様、がれきも放射性物質が含まれているかどうか慎重に検討すべき。市民の意見を聞いていただき』と発言していました。市長が、3月には『どんなこ

とがあつても説明会を開き、次のステップへ進んでいく』『がれきの受け入れに向つて今後努力していく。多くの議員から受け入れを進めるべきだという意見をもらつた。肅々と進め行く』と大きく変わりました。

〔市長〕 現時点においてがれき受け入れ処理を決定したわけではなく議員各位のご意見により調査を行うと申したものです。

市民の安全を第一に正確な試験を行うのか、どちらか伺います。認めた場合には、市民と議会に説明し御理解を得た上で、最終的に判断したいと考えています。

[市長]

燃焼試験で安全を確認できた場合には、市民と議会に説明し御理解を得た上で、最終的に判断したいと考えています。

焼却灰の受け入れ再開を求める企業への対応について

企業から再開の申し入れがあつた際の対応を伺います。

〔市長〕 〔関東の〕焼却灰につきましては、搬入再開を認める考えはございません。

紹介状が無い患者への その後の対応について

〔問〕 患者のための対応とは。

〔管理者〕 受付から看護師長に連絡し、症状の判断を医師に確認する体制をとっています。

〔市長〕 待避所の増設は橋梁

詳細調査の結果をもとに、可能かどうかを検討する。歩道帯の新設は関係機関と協議しながら歩道と車道を外側線で区分することで確認しやすくしたい。



田村 齊議員(新生クラブ)

高校統合時の通学援金受付期間を今年の9月30日まで延長した。

高校統合時の通学 交通について

〔問〕 大館市内の3高校統合時に通学交通対策として大館駅や下川沿駅については駅舎が特に下川沿駅については駅舎が手狭になるのではないか。

〔市長〕 開校後、具体的な通学手段等は、今後、県教委から示されることになるが、新たな課題が懸念される場合には対応を求め、必要に応じて協力する。

〔市長〕 待避所の増設は橋梁などの自然エネルギーを利用することを求める環境先端都市としての構想はどうか。

自然エネルギーの まちづくりについて

〔問〕 太陽光発電や風力発電

策定し、環境先端都市の構築に向けて、バイオマス、特に木質ペレットの普及に取り組んでいます。また、東日本大震災により、全国で太陽光・風力・水力・バイオマスなどの自然エネルギーが注目されているが、本市では公共施設に太陽光発電システムを導入するほか、小水力発電についても昨年度から市内数カ所で調査を実施している。

委員会から

--*-*
会期中の6月13、14、18、19日の4日間にわたりて各常任委員会で付託された議案等について審査を行いました。
各委員会からの主な報告は次のとおりです。

総務財政常任委員会

◇ 岩手県からの震災がれきの受け入れについて

震災がれきの受け入れについて、早急に進めるべきだという市民の意見も多くある。県北のリーダーを標榜する大館市として、震災がれきの受け入れ、処理に積極的に取り組むとともに、市民にも積極的に説明していくべきではないかという質疑があり、市長は、6月末には現地の施設の視察が可能になりそうであります。担当者が現地調査をする。7月には、私も住民の代表と視察団を組織して現地視察をし、その結果を議会や市民に報告して、一歩一歩進めていきたいと答弁した。

◇ 本庁舎の建設について

市営建設の検討については、市民の代表や学識経験者にも加

わつてもらつて検討すべき。市庁舎だけではなく既存の公共施設整備の更新計画と財政の長期的な見通しと一体として検討すべきではないかなどの質疑があり、市長は、公募した市民に入つてもらい、防災面なども検討していく。あわせて、財源や建設手法も検討していく。検討の途中経過は議会や市民に報告しながら、今年度末までに市庁舎建設基本計画を策定したいと答弁した。

厚生常任委員会

◇ 不活化ポリオワクチンについて

ことし9月から不活化ポリオワクチンが導入される。生ポリオワクチン接種と同様で無料であるが前年度の接種率を見ると約1割の方が接種していない。

委員が促したことについて市長は、不活化ポリオワクチンは皮

高まると前置きし、接種してない方へ電話で促すなどのさ

まざまな実効性のあるやり方で100%を目指したいとした。

--*-*

秋田県では、昨年1年間で自殺した人は346人にも上り、17年連続で全国1位となっています。当市でも過去1年間で20数名が自殺しており、その原因是、健康問題が一番多く、経済問題・家庭問題と続いている。誰かに心のうちを話すことができたのなら思いとどまらせることができたのではないか。これに対し市長は、一つは経済・社会的な理由が多いことから、直接的ではないが、転職などで気分転換が図れることから、働く場所をふやせるよう頑張ること。そしてもう一つは、メンタルヘルスビューローなどの民間の力を借りながらカウンセリングも含めた相談体制の整備を全庁体制で進めていくことを決意した。

教育産業常任委員会

◇ 地場産品の学校給食導入について

学校給食に曲げわっぱの食器が導入されるめどがつき、非常に喜ばしい。地場産食材も含めて活用を広げていくように願いたいという要望に対し、教育長は、地場産食材については、年々使用率が着実に増えている。非常に望ましい状況にあると述べた。また、曲げわっぱの食器に関しては、さまざまな検討を行なわれた。食の教育のみならず、重ね、ようやく試作品ができるがつた。食の教育のみならず、ふるさと教育の有効な教材と認識している。できるだけ拡大してまいりたいとの考え方を示した。

◇ 太陽光発電システムの導入について

今後、市内の15施設に設置されることだが、各施設が防災拠点、避難所となっているので、災害時等に備え関連する備品を準備し、整備を進めてほしいとの要望に、市長は、今回設置する太陽光発電システムは非常用として確保したい。特に学校については、児童生徒に太陽光発電を見ていただき教育にも役立てていただきたいとの考え方を示した。

建設水道常任委員会

◇ いとく大館東店脇の街路樹伐採について

地元への説明や委員会への説明も必要だったと思うが、あれだけ大きな施設ならばできあがつたとき、交通量の増加等、地域の中で大きな変化が起きたのではないのかとの問い合わせたので、市長は、地元及び委員会に説明が不足していたことを認め、今後このようないことがないよう、事前に環境がどう変わるか、それに対する対応していくかを説明していく。遅きに失したが、地元町内会に対し説明会を開催したいと答えた。

◇ 農業集落排水施設の機能強化について

機能強化となつてはいるが、餉鈎・山館の現地を視察したところかなりさびついていた。日常の保守点検、整備をどう考えていくかとの問い合わせに、市長は大規模改修も考へたが、農業集落排水は最終的には市の下水道に接続していくことを考えており、全面改修等した場合、下水道に接続したときに耐用年数が20年くらい無駄になってしまふため、今回は機能を維持していくため、補修を行うと述べた。

せいむちょうさひつかみち

平成23年度政務調査費の使い道

○政務調査費ってなに？

地方自治法に基づき、平成13年度に大館市議会議員政務調査費の交付に関する条例が定められ、市議会議員の調査研究のために交付される経費のことです。大館市では、議員1人あたり月1万5,000円が交付されています。（現在の議員には、平成23年5月から平成24年3月までの11ヵ月分、議員1人あたり16万5,000円が交付されました。）なお、残余金があった場合は返還することになっています。

○政務調査費の支出項目について（概略）

- | | |
|---------|---|
| ・調査研究費 | 議員が研究会・研修会の開催に要する経費。また、研究会・研修会に参加する経費や先進地調査に要する経費など |
| ・資料作成費 | 議員の行う調査研究活動のために必要な資料の作成に要する経費 |
| ・資料購入費 | 議員の行う調査研究活動のために必要な図書、資料等の購入に要する絏費
(下表では、資料作成費と資料購入費を合算し、資料費として掲載しています) |
| ・広報広聴費 | 議員が住民からの要望・意見を吸収するための会議等に要する経費や議会活動や市の政策について住民に報告し、PRするために要する経費など |
| ・人件費 | 議員の行う調査研究活動を補助する職員を雇用する経費 |
| ・その他の経費 | 上記以外の経費で議員の行う調査研究活動に必要な経費 |

平成23年度政務調査費收支報告（平成23年5月～平成24年3月）

(単位：円)

議員氏名	収入 (A)	支出					支出合計 (B)	市への返還額 (A)-(B)
		調査研究費	資料費	広報公聴費	人件費	その他経費		
小棚木 政之	165,000	167,095	1,575				168,670	0
武田 晋	165,000	91,920	7,920	16,500			116,340	48,660
佐藤 照雄	165,000	91,920	13,340	90,160			195,420	0
小畠 淳	165,000	91,920	2,979				94,899	70,101
花岡 有一	165,000	157,990	8,600				166,590	0
中村 弘美	165,000	165,770	2,163				167,933	0
畠沢 一郎	165,000	91,920					91,920	73,080
伊藤 毅	165,000		16,500	110,400	50,000		176,900	0
藤原 明	165,000	91,920					91,920	73,080
千葉 倉男	165,000	91,920					91,920	73,080
佐藤 久勝	165,000	91,920					91,920	73,080
仲沢 誠也	165,000	91,920					91,920	73,080
虹川 久崇	165,000	151,970	2,520				154,490	10,510
石田 雅男	165,000	129,920	1,000				130,920	34,080
藤原 美佐保	165,000	75,742	21,450				97,192	67,808
斎藤 則幸	165,000		47,750	111,300			159,050	5,950
明石 宏康	165,000			249,860			249,860	0
佐藤 芳忠	165,000	137,335	8,820	26,000			172,155	0
吉原 正	165,000		26,442	145,530			171,972	0
佐々木 公司	165,000	138,970	33,458			1,300	173,728	0
佐藤 健一	165,000						0	165,000
田中 耕太郎	165,000			185,660			185,660	0
富樫 孝	165,000	76,460	42,240	22,785			141,485	23,515
田村 齊	165,000	76,460					76,460	88,540
菅 大輔	165,000	76,460		78,000			154,460	10,540
笛島 愛子	165,000		31,065	52,820			83,885	81,115
相馬 エミ子	165,000		51,674	27,440			79,114	85,886
高橋 松治	165,000		23,550	107,715			131,265	33,735
合計	4,620,000	2,089,532	343,046	1,224,170	50,000	1,300	3,708,048	1,090,840

※議席番号順、議員数28人。

この「コーナーではみなさんからの「なまの声」を募集しています。お気軽にご投稿下さい。

私ちひ・と・こ・と

比内まちづくり協議会会長

渡耕民さん（比内町大巻）



—まちづくりに思うこと—

今から20数年前になりますが、「比内町、特に扇田には、地域にこだわっている人たちが多い。それが扇田という町を発展させた。今もこだわっている人たちが独創的なかつくりで、今まで「これからもだわっている人たちが多い。それが扇田という町を発展させた。今もこだわっている人たちが独創的なかつくりで、今まで「これからも」とあります。これまでに、他団体との交流や多くの講演会、視察研修を開催してきました。また、子供たちを主体にした映写会、ひないとりの市・比内縦断駅伝大会への参加と協力、省エネボスター作成発行など、多岐にわたって活動してきました。

全国のほとんどの地域では、少子高齢化や過疎化・人口減少など問題を抱えています。また、地域内のつながりも希薄になってしまっているところが多い」とあるとき上司が言いました。その当時は特別な思いもなかつたように思います。後年「ひないとりの市」を見て言わされたことが理解できたような気がしました。

大館市比内まちづくり協議会は、

化に取り組んでいるのが現状だと思います。そのような中で、当協議会は、ときには地域のリーダーとして、またあるときには地域の黒子として、今まで「これからも」「継続は力なり」を心に刻み、言葉なれば「全員野球」で邁進しなければならないと思っています。この中で地域に熱意とこだわりの人が多く出てきてくれればと願っています。

最後に、議員のみなさんは何らかの形で地域のため、将来のため、いろいろと活動されていると思います。中には子供たちのため、先頭に立って頑張っている方々も、子供たちが大きくなつたら地域のため、国のために、世界のため議員になりたいと夢を抱かせるような、より一層の議員・議会活動と活躍を期待しております。

編集後記

読まれる議会報に！ これは委員全員の思い。特に、表紙の写真については、事務局の皆さんに御苦労をおかけしている。その表紙に誘われ、中を見てももらえるように。さて、6月定例会からクールビズが実施され、男性議員は上着なし・ネクタイなし自分が目立つた。今後は議会が率先してクールビズを実施するため、エアコンの温度は28℃に設定し、それで上着等の着脱判断をすべきと考える。特に議会の場合、市民が気軽に傍聴できる環境のひとつとしても大事なことと思う。上着を脱いで前向きの議論をするためにも。

（ 笹島 愛子 記）

市議会を傍聴してみませんか

定例会と臨時会の本会議はどちらでも傍聴できます。

傍聴されるかたは、市役所東側（裁判所側）3階の議場入口で受付簿に住所・氏名等をご記入のうえ、係員の指示に従って議場へお入りください。